

Il Pregio

Piano Duo

『Il Pregio』とは、尊敬、長所、価値などの意味を持つイタリア語。2003年、それぞれに異なるフィールドで活動している2人のピアニストが、クラシック音楽の枠を超えて自由な発想で独自の世界観を広げようと目論んで、結成。さらなる可能性を模索中。



富松万里子 とみまつまりこ
国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業

在学中より声楽、器楽、オペラの伴奏などを行う。ピアノを小西啓子、村松規子、岡田隆郎、田中はる子の各氏に、室内楽を渡部啓三氏に、声楽を松本進氏に師事する。音楽教育を広めるための『ハウスコンサート』では地方での演奏も行い、全国各地に活動の場を広げている。声楽、合唱、室内楽のコンサートピアニストを多くつとめ、アンサンブルピアニストとして共演者からの信頼も厚い。また、伴奏者としてアマチュア合唱団の指導にも数多く取り組み、その指導力には定評がある。近年は、邦楽器とのアンサンブルにも意欲的に取り組み、音楽表現の幅を広げると共に、ジャンルの広さと幅広い音楽表現で好評を得ている。演奏活動のかたわら「A Piacere コンサート」を主宰し、後進の育成にも力を注いでいる。



石川潤一 いしかわじゅんいち

1964年宝塚生まれ、大阪音楽大学作曲学科卒業。

作曲を植野正敏氏に師事。ジャズピアノを藤井貞泰氏に師事。クラシックピアノを黒田康子、田原婦美子、村松規子各氏に師事。ヤマハ音楽振興会ポピュラーピアノ講師をする傍ら、都内のジャズ・バーやライブハウスでジャズピアニストとして活動中。

作曲作品も多数あり委嘱作品としては、Theatre Project Siの『狂言師とオペラ歌手が演じるシェイクスピア悲劇』シリーズ、組曲『水の表情』などの作曲を手がける。2016年よりソロピアノのライブ『もぎたての音を紡ぐ日』シリーズを定期的に開催中。

大澤史郎 おおさわしろう <ヴァイオリン>

東京藝術大学美術学部建築科卒業。

幼少よりヴァイオリンを学び、山田真弓氏、渡邊伊久子氏に指事。

藝大美術学部在学中に、音楽学部の友人達に誘われて、弦楽カルテットを始める。卒業後はヴァイオリン奏者/役者として帝国劇場、シアターコクーン、朝日テレビハイビジョンドラマ、BeeTVドラマなどに出演ほか、都内ライブハウスや、様々なジャンルのアーティストとの共演も多数。即興演奏も得意とする。また、出身地横浜市戸塚の戸塚区民オーケストラではコンサートマスター、トレーナーもつとめ、地域の音楽振興にも長年力を注ぐ。ヤマハPMSヴァイオリン講師として、山野楽器、伊藤楽器などにてヴァイオリンの指導も行っている。



松尾嘉子 まつおよしこ <ヴァイオリン>

長崎県出身。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。

在学中より20世紀の音楽をテーマに様々な企画演奏会、ライブを行う。

卒業後は、ヴァイオリンとピアノで演奏活動を行うかたわら、ヤマハPMSヴァイオリン講師をつとめる。

2000年に重傷を負い、演奏活動も出来なくなるが、1年のリハビリを経て復帰。

復帰後、バルトーク「44のデュオ全曲演奏会」、2006年公開の映画「もんじゃん」（製作シグロ 山本草介監督）等に出演。現在はヴァイオリンのほかヴィオラ奏者としても活動の幅を広げている。

オオサワヴァイオリン教室を主催し、指導にも力を注ぐ。



ルーテル市ヶ谷センターホール

2017. 11. 10 (金) 開場 18:30 / 開演 19:00 【前売り】 ¥3500 【当日】 ¥4000